

別紙11 各室条件表

No.	区分	室名	項目	要求水準 凡例 ★：必須、○：望ましい	【参考】Bリーグ ホームアリーナ検査要項 2026-2027シーズン新B1用
1	選手・チーム関係者 / 演者・イベント関係者 / 一般利用者利用エリア	アリーナ	共通	<ul style="list-style-type: none"> ★すり鉢状の観客席、センターハングビジョンやリボンビジョン等の映像設備、音響設備等、プロスポーツ等を「みる」ことを重視して整備すること ★コンサートや展示会、学会等の開催も想定し、会場設営やイベントの運営が行いやすい構造とすること ★観客及び競技者が一体感及び臨場感を感じられるアリーナ計画とすること ★各興行利用時に、周辺への騒音・振動等の影響を極力抑えるように配慮すること ★指定避難所として使用するために、洪水時等に支障のない位置・高さで計画すること ★車椅子利用者等の障害者の利用に配慮すること ★対応競技の実施に支障のない壁配色及び床配色とすること ★採光窓を設ける場合は、自然光が競技の妨げとならないよう配慮するとともに、必要に応じ暗転できるようにすること 	
2			フロアサイズ	<ul style="list-style-type: none"> ★公式競技用規格として、バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン10面、卓球17面以上をゆとりある寸法で確保できるサイズとすること ★対応競技は、上記の他、体操、新体操、フェンシング、レスリング、ウエイトリフティング、車いすバスケットボール等障害者スポーツとしており、コート配置の検討に当たっては、「別紙12 対応競技のコートレイアウト」を参照すること ○コンサート時には、エンドステージ形式で最小寸法W12間×D8間＝W21.6m×D14.4mのステージを設置することを想定した計画とすること 	① 施設要件 II 試合アリーナ 1. 基本サイズ ◆下記要件を踏まえた「コートエリア」を適切な広さで設置するために、下記要件を満たすスペースを「コートエリア」として確保できる ※「コートエリア」にはアリーナに設置される可動席・移動席、および仮設席、加えて、通路のスペースは含まれない 《コートエリアの設定要件》 ・試合コート（32m×19m） ・スコアラーステーブル ・チームベンチ ・ゴール器具 ・コートサイド広告看板設置スペース ・フォトグラフアポジション ◆「コートエリア」の外側には、消防法に準じた幅の通路が設定されている
3			形状	★「みる」アリーナとして多くの観客がフロア面に正対できる八角形又はスポーツ観戦に適した形状としてこれと同等のものとする	
4			高さ	★天井に吊物を設置した場合でもプロスポーツ興行、全国大会、国際大会、コンサートを含む各種イベント等に対応できる十分な高さを確保すること	
5			フロア床仕様	<ul style="list-style-type: none"> ★木床とすること ★競技性や安全性を確保すること ★対応競技のほかコンサート会場として使用することも想定し、設営・撤去時の作業性を考慮した床構造とすること ★可動（移動）席の荷重を想定した計画とすること ★対応競技の器具を固定するための床金具を設けること ★各種興行・イベント利用や指定避難所に適した、耐久性、防汚性、メンテナンス性を考慮すること 	① 施設要件 II 試合アリーナ 2. フロア床材（常設設備） ◆試合コートの床材は「木製」が望ましい 合成材の場合は製品仕様および状況をリーグが実地検査にて確認して使用する
6			競技照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ★Bリーグ等のプロスポーツ興行の基準に適合したものとし、アマチュアのスポーツ競技、式典、展示会等でも利用可能な設備とすること ★競技エリアや観客席エリアに対するグレア（直接グレア、反射グレア等）を考慮した計画とすること ★ハイスピードカメラ撮影でのフリッカ（ちらつき）等が発生しない照明器具を選定すること ★個別調光（0～100%）や即時点滅制御が可能な設備とすること ★映像設備、音響設備及び他の照明設備と連動した演出を可能とすること ★利用目的や条件に応じた適切な点灯パターンを設定可能とすること ★競技エリア全体を均一に照らし、2,000ルクス以上の平均照度を確保すること 	① 施設要件 II 試合アリーナ 3. 照明設備（常設設備） ◆「コートエリア」全体を均一に照らし、その平均照度が1,400ルクス以上を確保されている ※将来的には「コートエリア」全体を均一に照らし、その平均照度が2,000ルクス以上を確保できることが望ましい
7			演出照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ★Bリーグ等のプロスポーツ興行の演出に最適な計画とした上で、式典や展示会等のイベント（コンサート等の音楽イベントを除く。）でも利用可能な演出照明設備（ムービングライト、フルカラーライト、レーザーライト等）を設けること（ムービングライトを40台程度設置することを目安とする。なお、想定される費用の範囲において、県との協議により、規格や台数を調整する場合がある。） ★1台ごとに調光調色制御、ムービング制御、ゴボやエフェクト切替等を操作可能とすること ★映像設備、音響設備及び他の照明設備と連動した演出を可能とすること ★持込機器、機材にも柔軟に対応可能なよう、アリーナ面及び点検用歩廊に仮設用電源含め演出照明用のインフラを計画すること 	
8			残響・反響	<ul style="list-style-type: none"> ★観客の声援が明瞭にコートに届くよう、適切な残響時間で計画すること（残響時間：空席時 2.0秒以下、満席時 1.8秒以下） ★コンサート開催に耐えうる、反響を抑えた設計にすること 	① 施設要件 II 試合アリーナ 4. 音響設備（常設設備） ◆すべてのエリア（観客席、コートエリアなどメインアリーナ全体）で明瞭に、また適切な音量で音が聞こえる音響設備を常設設備として備えている なお、常設設備の効果が適切に得られない場合、クラブがその効果を補完するために独自の音響機材を持ち込んで使用する場合は、その限りではない ◆緊急時や観客向けへの案内などに使用するための場内放送設備を常設設備として備えている なお、常設設備の効果が適切に得られない場合、クラブがその効果を補完するために独自の音響機材を持ち込んで使用する場合は、その限りではない
9			音響設備	<ul style="list-style-type: none"> ★観客を含む利用者や競技者への実況放送、案内放送、演出用音楽放送、避難誘導放送等を行うための音響設備を設けること ★Bリーグ等のプロスポーツ興行の演出に最適な計画とした上で、式典や展示会等のイベント（コンサート等の音楽イベントを除く。）でも利用可能な設備とするとともに、音声が明瞭に聞こえ、かつ臨場感を感じさせるために十分な音圧、明瞭度を確保すること（平均音圧：95dB以上（160Hz～10KHzにおいて偏差10dB以内）、明瞭度（Sti）：観客席にてFair以上） ★アリーナ面での操作、調整が可能なようインフラ・機器を構築すること ★映像設備及び照明設備と連動した演出を可能とすること ★持込機器、機材にも柔軟に対応可能なよう、アリーナ面及び点検用歩廊に仮設用電源含め音響用のインフラを計画すること 	
10			電源	<ul style="list-style-type: none"> ★適切な場所に電源設備を整備すること ★プロスポーツ興行・各種イベントに対応可能なよう適切な場所にイベント用電源設備を整備すること 	

別紙11 各室条件表

No.	区分	室名	項目	要求水準 凡例 ★：必須、○：望ましい	【参考】Bリーグ ホームアリーナ検査要項 2026-2027シーズン新B1用
11	選手・チーム関係者 / 演者・イベント関係者 / 一般利用者利用エリア	アリーナ	空調	<ul style="list-style-type: none"> ★「みる」アリーナとして多くの観客にとって快適な空気環境を作れること ★大規模空間に適したものとし、各種競技に支障がないよう空調吹出口の位置等を考慮するとともに、観客席においては快適な環境を提供できるようにすること ★居住域（観客席だけでなく競技エリアも含む）を効率的に空調できる方式とすること ★バドミントン、卓球等の公式試合（国民スポーツ大会レベル）ができるよう、競技エリアにおける適切な風速、気流を計画すること ★気流を抑える空調方式として、輻射式空調等の導入も積極的に検討し、必要に応じてエリア毎の空調を停止できるように、観客エリアと系統を分けること ★観客の観覧状況を加味して全熱だけでなく潜熱に配慮して空調能力を選定すること 	① 施設要件 II 試合アリーナ 5. 空調設備（設備） ◆適切なアリーナ内温度（冷房季：26℃、暖房季：21℃を目安とする）調整が可能な常設の空調設備を備えていることとする また、空調設備は以下の機能を備えているものとする ただし、暖房機能については地域特性も考慮するものとする ・暖房機能 ・冷房機能
12			映像設備（センターハングビジョン）	<ul style="list-style-type: none"> ★アリーナの中央上部に天吊式の映像設備（センターハングビジョン）を設けること ★センターハングビジョンは、メインの映像表示器4面と、その内側に設けるインナービジョン4面で構成すること ★メインの映像表示器は、1面当たり、寸法：（高）4,500mm×（幅）8,000mm以上、ピクセルピッチ：6.25mm以下とすること。インナービジョンは、アリーナ面の選手や観客からの視認性に配慮し、寸法や位置等を計画すること ★電動により昇降可能とし、各種公式競技や興行に合わせた高さで自動で調整可能な設備とすること。なお、バレーボール競技の際には、床面からセンターハングビジョンの下端までの有効高さを15m以上確保できること ★Bリーグ等のプロスポーツ興行のほか、アマチュアのスポーツ競技、式典、展示会等で利用可能な設備とすること ★全ての観客からの視認性に優れ、臨場感を感じさせる仕様とするとともに、観客のサイトラインに配慮した計画とすること ★ライブ映像、リプレイ映像、館内カメラ映像、予め準備した動画・静止画等のほか、各種競技の得点や経過時間等競技実施に必要な情報を組み合わせて分割表示できるものとする ★他の映像設備、音響設備及び照明設備と連動した演出を可能とすること 	① 施設要件 II 試合アリーナ 6. 大型映像設備（常設設備） ◆映像および文字を高精度で表示でき、すべての観客から視認可能な位置に設置された映像設備を常設設備として備えている 常設設備が存在しない場合は仮設により設置する ※仮設の場合は2026年以降の利用時に判断する事とする ◆大型映像設備は、既設置以外の外部からの信号入力が可能である ◆大型映像設備は、デジタル信号の入力に対応し、また、表示機能を備えている 《推奨要件》 大型映像設備の形式は天吊りビジョンやリボンビジョン等を用いる事
13			映像設備（リボンビジョン）	<ul style="list-style-type: none"> ★アリーナ内壁面に帯状の映像設備（リボンビジョン）を設けること。なお、可能な限り周囲を取り囲むように配置すること ★寸法：（高）1,000mm以上、ピクセルピッチ：6.25mm以下 とすること ★予め準備した動画・静止画等のほか、各種競技の得点や経過時間等競技実施に必要な情報を組み合わせて分割表示できるものとする ★他の映像設備、音響設備及び照明設備と連動した演出を可能とすること 	
14			場内カメラ設備（リモートカメラ）	<ul style="list-style-type: none"> ★アリーナ内の適切な位置に、アリーナ面及び観客席を撮影できるようカメラの向きやズーム位置等の各種カメラ機能を遠隔で操作可能なリモートカメラを適宜設けること ★撮影した映像は映像送出システムに接続可能とすること ★映像設備に出力した際にも鮮明な画像を維持できる解像度を確保すること 	
15			場内カメラ設備（AIカメラ）	<ul style="list-style-type: none"> ★スポーツ競技の映像配信のほか、施設利用者の練習後・試合後の振り返りやチーム戦術分析等に活用するため、シーンに合わせて自動で追尾・シーン調整可能なAIカメラを2台設けること。なお、コート全体を見渡せる位置に設置場所を計画すること ★撮影した映像は映像送出システムに接続可能とすること ★映像設備に出力した際にも鮮明な画像を維持できる解像度を確保すること 	
16			天井荷重/吊り物	<ul style="list-style-type: none"> ★国旗等掲揚用のほか興行時に必要な美術バトン、照明バトンなどを設けること（電動昇降式） ★映像設備（センターハングビジョン）等の耐吊荷重、振動を検討し、耐震性を考慮した構造とすること ★コンサート等イベント開催時に主催者が持ち込む機材を、仮設用吊りフック等で吊ることを想定した荷重を見込むこと 	
17			機器	<ul style="list-style-type: none"> ★アリーナ内の上部等の高所に設置する機器は保守が容易な設置方法とするとともに落下防止対策を行うこと ★アリーナ内に設置する機器（高所に設置する機器は除く）等は、防球対策を十分に施すこと 	
18			点検用歩廊（キャットウォーク）	<ul style="list-style-type: none"> ★アリーナ上部に設置する映像・音響・照明等の設備のメンテナンスに必要な歩廊、手摺等を設けること ★耐震性を考慮した構造とすること 	
19	アリーナ用器具庫	<ul style="list-style-type: none"> ★対応競技の公式戦を開催するために必要な器具・備品を収容できる広さを確保すること（複数の部屋に分散することも可） ★天井高さ、建具の高さは、3.5m以上を目安とし、アリーナや搬入出口との動線に留意した位置とすること ★収納する器具・備品等は「別紙22 器具備品一覧」を参照のこと ○仮設資機材を仮置きスペースや将来的な収納量の増大にも対応可能な余剰スペースを適切に設けること 	② 設備要件 I 付帯設備 II 備品 ◆ホームゲーム開催時に必要となる「什器備品」が、必要規模で、貸出備品として施設に配備されている ◆ホームゲーム開催時に必要となる「設営備品」が、必要規模で、貸出備品として施設に配備されている ◆施設に配備されている貸出備品がリスト化されており、原状復帰に関する明確な規定が文書化されている		
20	荷捌き場	搬入出口	<ul style="list-style-type: none"> ★十分な間口（5m以上）と高さ（4m以上）を確保した搬入出口を複数か所設置すること ★搬入路とアリーナフロア面で段差のない構造とすること ★11t車等の乗り入れに支障がないように床面の耐荷重を考慮すること 		

別紙11 各室条件表

No.	区分	室名	項目	要求水準 凡例 ★：必須、○：望ましい	【参考】Bリーグ ホームアリーナ検査要項 2026-2027シーズン新B1用
21	選手・チーム関係者 / 演者・イベント関係者 / 一般利用者利用エリア	更衣室A	-	<ul style="list-style-type: none"> ★更衣室（120㎡以下）を設けること（Bリーグ等のプロスポーツ興行時にはホームチームの使用を想定） ★更衣室内にシャワールーム、トイレを複数設置すること（身長が大きい選手が利用することを想定し、シャワーヘッドの位置等を計画すること） ★個別の仕切りがついた座席付きロッカー（18人以上）を設置するほか、テーブルやイスを設置できるスペースを確保すること ★ミーティングやビデオ鑑賞用の映像・音響設備を設置すること ★アリーナに安全にアクセスでき、一般観客や報道関係者から隔離できること ★更衣室Bと隣接し、更衣室Bとの間には建具や可動間仕切りを設けることにより、室内で行き来できるよう計画すること ★イベント時は、控室等の汎用諸室として利用できること 	<p>⑤ 諸室要件 1 更衣室（ロッカールーム）（1）チーム用更衣室</p> <p>◆ホームゲーム開催時にチームが使用する更衣室（ロッカールーム）は、チーム全体の人数に相応する規模の広さが確保でき、軽食等が提供できる机等が配備されている</p> <p>また、ひとつのチームにつき1室の更衣室が用意される</p> <p>※広さを確保するために複数の部屋を充てることも可</p> <p>◆ホームゲーム開催時にチームが使用する更衣室（ロッカールーム）には、下記の設備が室内に常設されている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャワールーム（選手の人数に応じて複数人が同時に使用できる規模） ※更衣室から他との接触なしにアクセスできる位置にシャワールームがあり、その利用に支障がない場合はその限りではない ・トイレ ※更衣室に隣接してトイレ設備があり、その利用に支障がない場合はその限りではない <p>《チーム用更衣室推奨備品》</p> <p>備品として、着席可能なロッカー、トリートメント用のベッド、製氷機等が配備されている事が望ましい</p>
		更衣室B	-	<ul style="list-style-type: none"> ★更衣室（90㎡以下）を設けること ★更衣室内にシャワールーム、トイレを複数設置すること ★個別の仕切りがついた座席付きロッカー（18人以上）を設置するほか、テーブルやイスを設置できるスペースを確保すること ★アリーナに安全にアクセスでき、一般観客や報道関係者から隔離できること ★更衣室Aと隣接し、更衣室Aとの間には建具や可動間仕切りを設けることにより、室内で行き来できるよう計画すること ★イベント時は、控室等の汎用諸室として利用できること 	
		更衣室C	-	<ul style="list-style-type: none"> ★更衣室（90㎡以下）を設けること ★更衣室内にシャワールーム、トイレを複数設置すること ★個別の仕切りがついた座席付きロッカー（18人以上）を設置するほか、テーブルやイスを設置できるスペースを確保すること ★アリーナに安全にアクセスでき、一般観客や報道関係者から隔離できること ★更衣室Dと隣接し、更衣室Dとの間には建具や可動間仕切りを設けることにより、室内で行き来できるよう計画すること ★イベント時は、控室等の汎用諸室として利用できること 	
		更衣室D	-	<ul style="list-style-type: none"> ★更衣室（120㎡以下）を設けること（Bリーグ等のプロスポーツ興行時にはアウェイチームの使用を想定） ★更衣室内にシャワールーム、トイレを複数設置すること（身長が大きい選手が利用することを想定し、シャワーヘッドの位置等を計画すること） ★個別の仕切りがついた座席付きロッカー（18人以上）を設置するほか、テーブルやイスを設置できるスペースを確保すること ★ミーティングやビデオ鑑賞用の映像・音響設備を設置すること ★アリーナに安全にアクセスでき、一般観客や報道関係者から隔離できること ★更衣室Cと隣接し、更衣室Cとの間には建具や可動間仕切りを設けることにより、室内で行き来できるよう計画すること ★イベント時は、控室等の汎用諸室として利用できること 	
25		控室A	-	<ul style="list-style-type: none"> ★更衣室A、Dにそれぞれ隣接/近接した位置に20㎡以下の室を各1室設けること ★イベント時は、控室等の汎用諸室として利用できること 	<p>⑤ 諸室要件 1 更衣室（ロッカールーム）（2）審判用更衣室</p> <p>◆ホームゲーム開催時に審判が使用する更衣室（ロッカールーム）は、その使用人数に相応する規模の広さが確保でき、机とイスが配備されている</p> <p>ただし、男女別に設定する必要がある場合は、2部屋用意する</p> <p>更に、審判用更衣室は、チーム用更衣室と動線上接触しないこと</p> <p>◆ホームゲーム開催時に審判が使用する更衣室（ロッカールーム）には、下記の設備が室内に常設されている</p> <p>ただし、男女別に設定する必要がある場合、2部屋用意する場合には、どちらか一方の室内に常設されていれば足りるものとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャワールーム（審判の人数に応じて複数人が同時に使用できる規模） ・トイレ ※更衣室に隣接してトイレ設備があり、その利用に支障がない場合はその限りではない
		控室B	-	<ul style="list-style-type: none"> ★審判用更衣室を想定し、30㎡以下の室を2室設けること ★室内にシャワールーム、トイレを設置すること ★審判と選手の動線が重ならないよう配慮すること ★イベント時は、控室等の汎用諸室として利用できること 	
27		多目的室A	-	<ul style="list-style-type: none"> ★利用人数や用途に応じ、適宜空間を区切って使用するための間仕切り設備を備えた多目的室を整備すること（200㎡程度の室を1室） ★興行や競技大会時は、運営本部・スタッフ控室、警備員・スタッフ控室、競技スタッフ控室（ゲームディレクター、テーブルオフィシャルズクルー）として使用することを想定した整備を行うこと ★通常時は、会議室、研修室、控室として使用するほか、卓球等の練習や、社交ダンス、ストリートダンス、エアロビクス、ヨガ等の教室利用、その他レクリエーションスポーツ等にも使用することを想定した整備を行うこと ★床の様子は、屋内競技用長尺塩ビシートとすること ○ダンスやエアロビクスの利用を想定し、壁の一部には鏡を設置すること 	<p>⑤ 諸室要件 2 運営諸室およびスペース（1）主催者・管理者用諸室</p> <p>◆ホームゲーム開催時に下記の諸室に利用できる部屋（転用できるスペースでも可）を確保すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営本部 ・運営スタッフ控室（クラブスタッフ以外の運営スタッフが利用できる部屋） ・警備員および警備スタッフ控室 ・競技スタッフ控室 <p>《推奨備品》</p> <p>諸室において推奨される備品は下記とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット回線 ・館内モニター（運営本部や警備員および警備スタッフ控室） ・複合機（コピー等）

別紙11 各室条件表

No.	区分	室名	項目	要求水準 凡例 ★：必須、○：望ましい	【参考】Bリーグ ホームアリーナ検査要項 2026-2027シーズン新B1用
28	選手・チーム関係者 / 演者・イベント関係者 / 一般利用者利用エリア	多目的室B	-	<ul style="list-style-type: none"> ★利用人数や用途に応じ、適宜空間を区切って使用するための間仕切り設備を備えた多目的室を整備すること（50㎡程度の室を3室以上） ★興行や競技大会時は、メディア用諸室（メディアワークルーム、記者会見室、囲み取材エリア）として利用するほか、運営本部等の諸室として使用することを想定した整備を行うこと ★通常時は、会議室、研修室、控室として使用するほか、卓球等の練習や、社交ダンス、ストリートダンス、エアロピクス、ヨガ等の教室利用、その他レクリエーションスポーツ等にも使用することを想定した整備を行うこと ★床の仕様は、屋内競技用長尺塩ビシートとすること ○ダンスやエアロピクスの利用を想定し、壁の一部には鏡を設置すること 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 諸室要件 1 更衣室（ロッカールーム）（3）その他控室 ◆その他、演出出演者等用に控室が必要な場合は、チーム、審判用とは別に、専用の更衣室を設定する ⑤ 諸室要件 2 運営諸室およびスペース（2）メディア用諸室およびスペース ◆ホームゲーム開催時には、メディアワークルーム、記者会見室、囲み取材エリアを確保すること 各諸室は下記設備を設けることとする ・メディアワークルーム ※配備備品および設備：テーブル席、電源設備等 ※メディアワークルームにはインターネット回線があることが望ましい ・記者会見室 ※バックドロップ、音響機器（必要に応じて）、照明器具等 ※記者会見室は、他からの音が入らないよう配慮されている事が望ましい ・囲み取材エリア ※バックドロップ、照明器具等 ※囲み取材エリアは、試合アリーナ内の音が遮断できる位置にあり選手およびメディアがアクセスできるスペースにあるものとする
29		医務室	-	<ul style="list-style-type: none"> ★更衣室に近接した位置に医務室として利用可能な部屋を設けること ★緊急時に救急車にケガ人等を搬送しやすい位置に配置すること ★ストレッチャーで出入りできる建具寸法とすること ★ベッドが2台程度設置できるスペースとすること ★その他事務机や医療器具等の設置スペースも考慮すること ★室内に流し台、手洗い器を設置すること 	<ul style="list-style-type: none"> ②設備要件 I 付帯設備 2 専用諸室（1）医務室 ◆館内に適切な広さで「医務室」または「医務室」として利用可能な部屋がある
30		ドーピングコントロール室	-	<ul style="list-style-type: none"> ★更衣室に近接した位置にBリーグホームアリーナ検査要項を満たすドーピングコントロール室として利用可能な部屋を設けること ★部屋内の奥など、通常利用時は見えない位置にドーピング検査可能なトイレ・洗面台が設置されていること（男女兼用で想定し、詳細は別途JADAに確認・調整とする） 	<ul style="list-style-type: none"> ②設備要件 I 付帯設備 2 専用諸室（2）ドーピングコントロール室 ◆館内に適切な広さで「ドーピングコントロール室」または「ドーピングコントロール室」として利用可能な部屋がある 仮設対応の場合、トイレ設備が当該部屋に隣接しており、部外者の立ち入りが規制できる 《「ドーピングコントロール室」の必要要件》 イ：設置場所は、観客やメディア、来賓等の部外者が近づくことができない場所である ロ：設置場所は、可能な限り、コートまたはチーム用更衣室から移動しやすい場所である ハ：必要な設備は以下の通り ・最大4人が利用可能な「待合室」※イスまたはソファ、テーブル、冷蔵庫、テレビ等の必要備品を配置 ・最大4人が利用可能な「検査室」※テーブル、イス、キャビネット、冷蔵庫等の必要備品を配置 ・「検査室」内、仮設の場合は「検査室」と隣接した場所にトイレ設備、および洗面台がある
31		体育館	共通	<ul style="list-style-type: none"> ★スポーツを「する」施設である体育館は、アマチュアのスポーツ競技や県民のスポーツ・レクリエーション利用等を想定して整備すること ★応援などの「みる」機能として、観客席を設けること ★プロスポーツ興行時等の練習会場、各種イベント会場等（物販スペース、飲食スペース）としての活用も想定すること ★荷物の搬入出のための大型建具を設け、搬入出用の車両の駐車スペースとあわせて考慮すること 	
32			フロアサイズ	<ul style="list-style-type: none"> ★公式競技用規格として、バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、卓球10面をゆとりある寸法で確保できるサイズとすること ★対応競技は、上記の他、体操、新体操、フェンシング、レスリング、ウエイトリフティング、車いすバスケットボール等障害者スポーツとしており、コートサイズの検討に当たっては、「別紙12 対応競技のコートレイアウト」を参照すること 	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設要件 III 練習環境（試合前） 1. 基本サイズ ◆試合当日の練習が試合コートにて実施できない場合バスケットボールコートを正規のサイズで1面以上設置可能であるサブアリーナを備えている 練習がサブアリーナにて実施できない場合バスケットボールコートを正規のサイズで1面以上設置可能である練習場を備えている ※当該練習場は原則車で30分以内に主に使用される宿泊施設もしくは試合会場に到着できる
33			高さ	<ul style="list-style-type: none"> ★対応競技の公式競技大会等に十分に対応できる高さとする（バレーボール時：センターラインの上部でフロア面から12.5m以上の有効高さを確保） 	
34			フロア床仕様	<ul style="list-style-type: none"> ★障害者スポーツやイベント等の利用にも適した屋内競技用長尺塩ビシートとすること ★競技性や安全性を確保すること 	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設要件 III 練習環境（試合前） 2. フロア床材（常設設備） ◆試合コートの床材は「木製」が望ましい 合成材の場合は製品仕様および状況をリーグが実地検査にて確認して使用する
35			競技照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ★アマチュアのスポーツ競技を想定した照明台数・配置にて計画すること ★競技エリアや観客席エリアに対するグレア（直接グレア、反射グレア等）を考慮した計画とすること ★利用目的や条件に応じた適切な点灯パターンを設定可能とすること ★競技エリア全体を均一に照らし、1,500ルクス以上の平均照度を確保すること 	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設要件 III 練習環境（試合前） 3. 照明設備（常設設備） ◆全体を均一に照らし、競技に支障が出ない照度が確保されている
36			内装	<ul style="list-style-type: none"> ★対応競技の実施に支障のない壁配色及び床配色とすること ★採光窓を設ける場合は、自然光が競技の妨げとならないよう配慮するとともに、必要に応じ暗転できるようにすること 	

別紙11 各室条件表

No.	区分	室名	項目	要求水準 凡例 ★：必須、○：望ましい	【参考】Bリーグ ホームアリーナ検査要項 2026-2027シーズン新B1用
37	選手・チーム関係者 / 演者・イベント関係者 / 一般利用者利用エリア	体育館	電源	★適切な場所に電源設備を整備すること ★アマチュアのスポーツ競技・各種イベントに対応可能なよう適切な場所にイベント用電源設備を整備すること	
38			場内カメラ設備 (AIカメラ)	★スポーツ競技の映像配信のほか、施設利用者の練習後・試合後の振り返りやチーム戦術分析等に活用するため、シーンに合わせて自動で追尾・シーン調整可能なAIカメラを2台設けること。なお、コート全体を見渡せる位置に設置場所を計画すること ★撮影した映像は映像送出システムに接続可能とすること ★映像設備に出力した際も鮮明な画像を維持できる解像度を確保すること	
39			空調	★大規模空間に適したものとし、各種競技や分割利用に支障がないよう空調吹出口の位置等を考慮するとともに、観客席においては快適な環境を提供できるようにすること ★居住域（観客席だけでなく競技エリアも含む）を効率的に空調できる方式とすること ★バドミントン、卓球等の公式試合（国民スポーツ大会レベル）ができるよう、競技エリアにおける適切な風速、気流を計画すること ★気流を抑える空調方式として、輻射式空調等の導入も積極的に検討し、必要に応じてエリア毎の空調を停止できるように、観客エリアと系統を分けること ★観客の観覧状況を加味して全熱だけでなく潜熱に配慮して空調機能を選定すること	① 施設要件 Ⅲ 練習環境（試合前） 4. 空調設備（設備） ◆適切なアリーナ内温度（冷房季：26℃、暖房季：21℃を目安とする）調整が可能な常設の空調設備を備えているものとする また、空調設備は以下の機能を備えているものとする ただし暖房機能については地域特性も考慮するものとする ・暖房機能 ・冷房機能
40			大型電動間仕切り	★異なる競技等を安全かつ効果的に行うことができるようにするため、体育館のフロア面を2分割して利用できる大型電動間仕切りを設置すること	
41			体育館用器具庫	広さ/高さ/配置/収納器具・備品	★対応競技の公式戦を開催するために必要な器具・備品を収容できる広さを確保すること ★天井高さ、建具の高さは、3.5m以上を目安に確保し、体育館まで円滑に搬出入出来る計画とすること ★収納する器具・備品等は「別紙22 器具備品一覧」を参照のこと
42		体力測定室	-	★広さは100m程度とし、体育館に隣接した位置に設けること ★体力測定、トレーニングサポート、映像・IT サポート、動作分析、ゲーム分析等を行い、選手やチームの競技力向上を図るものとする ★収納する器具・備品等は「別紙22 器具備品一覧」を参照のこと	
43		トレーニング室	-	★各種トレーニング機器を適切に配置し、ストレッチスペースを確保すること ★広さは、300m程度とし、うち ウェイトリフティングスペース:60m程度 を確保すること ★トレーニング機器等の荷重条件に耐えうる床の強度を確保すること ★収納する器具・備品等は「別紙22 器具備品一覧」を参照のこと	
44		更衣室 (体育館用)	-	★利用者数、利用動線等を考慮し、適切な場所に男女それぞれ1室（各室60～80m程度）を設置し、温水シャワー、鏡付き洗面台を併設すること ★障害者等に配慮した多目的更衣スペースを設置し、介助者用スペースも考慮すること	
45		会議室	-	★会議・打合せ・研修等を行うための会議室（60m程度）を設けること ★体力測定室と近接した位置に配置すること	
46		スポーツクライミング (リード) スペース ※屋外	-	★ウォールサイズは、ルートの長さを15m以上、高さを12m以上とし、幅は7m以上とすること ★ウォールの傾斜は、最小を100度、最大を150度とし、かつ平均を120度とすること ★ウォール上部には雨天対策としての庇を設置し、側面には競技中における横風対策を講ずること ★大会時には体育館をアイソレーション・ゾーンとして使用することを想定した位置に整備すること ★ウォール、確保支点、ホールド等の安全性は、CEN（欧州標準化委員会）で承認されたEN基準（ヨーロッパ標準規格）もしくはそれに相当する国際基準を満たすことを前提とすること	
47	来場者利用エリア	アリーナ一般席	共通	★収容人数等は、Bリーグ公式試合時に6,000席以上とし、安全性を確保しつつ、臨場感、躍動感が感じられるよう、前方の観客で目線が切られないよう、観客席に適切な勾配を設けること ★「別紙13 アリーナ座席要件表」を参照すること	
48		体育館観客席	観客席数	★固定席で200席以上 ○固定席の一部に現県立体育館の木製客席を再利用することを検討すること	

別紙11 各室条件表

No.	区分	室名	項目	要求水準 凡例 ★：必須、○：望ましい	【参考】Bリーグ ホームアリーナ検査要項 2026-2027シーズン新B1用	
49	来場者利用エリア（VIP）	VIPエリア	共通	★照明は、調光可能とし、設定したシーンを再生可能なメンテナンススイッチを設けること。照明操作可否を入切可能な制御とすること ★VIPエリアの動線は、VIP用にふさわしい設えとすること		
50		スイート	VIPスイート	★「別紙13 アリーナ座席要件表」を参照すること	①施設要件 1 座席 2 既存座席（施設の常設または常備設備） (3) スイート・ラウンジ ◆スイートがあること スイートとは、飲食や談話等を楽しむことができる原則、居室化※されたスペース・席とそれとは別に試合を観戦する座席が併設配置されたスペースであること ※居室化とは周囲から視覚的に独立し周囲の音などから遮断されている状態のことをしめす ◆飲食の提供が可能である 《スイート・ラウンジに求めるもの》 利用される方々が非日常的でラグジュアリーな観戦体験や商談等にもスイートが活用出来る事を期待し、ホスピタリティのある高付加価値な場を提供する事 また、VIPや国賓級な方などが来る場合でも対応できる事 《スイート・ラウンジの推奨要件》 ・一般客と分離したトイレを持つ ・飲食等が提供できるように給排水設備をもつ ・ゆったりくつろげるソファやテーブルを備えている ・室内にモニターを備えている	
51			カジュアルスイート			
52			付帯席			◆固定席(スタンド席)からの出入りが不可能な場所にスイート・ラウンジ利用人数相当の座席が用意されている ◆VIPが利用時にはスイートから座席に独立の（一時的でも可）動線で座席にアクセスできる ◆スイートについてはホームゲーム開催時には入場可能数の2%以上が利用可能な席がある
53			ラウンジ	－	★非日常的でラグジュアリーな観戦体験を提供できるしつらえ・デザインとし、飲食等を提供できる設備、カウンター、ソファ、テーブル等を備えること ★デジタルサイネージ用のモニターを設けること	◆ラウンジがあること ラウンジとは試合観戦する座席※を備え、それとは別に飲食や談話するスペースやエリアがあること ※ラウンジ利用者の座席は一般の座席で可とする ◆ラウンジについては（スイートと合計して）入場可能数の5%以上が利用できるエリア・スペースがある ◆飲食の提供が可能である
54			センサールーム	－	★聴覚、視覚等の感覚過敏の症状がある方やその家族が安心してスポーツ等を透明の窓越しに観戦できる部屋を設けること ★部屋を暗くできるように照度を調整できること ★アリーナ内からの音響を調整できること ○マット等を敷いて靴を脱いで過ごすことができること	
55		パントリー	－	★スイート・ラウンジ向けに飲食サービスを提供できること ★スイート・ラウンジで提供する食事は、セントラルキッチン機能を有する飲食テナントスペースで調理されたものを想定し、パントリー内で温め等の簡易調理ができること ★飲食テナントスペースから食事を運搬しやすいよう配膳用のエレベーター等を設けること ★電源盤等の電気インフラを設け、課金が行える検定付メーターを設置すること ★水道・給湯の使用料を計量できるようにすること		
56		VIP用エントランスホール・入退場口	－	★VIP専用入退場口を設け、VIP専用駐車場及びロータリー等からの動線に考慮するとともに、VIP用エントランスホールを設けること ★VIP用入退場口には風除室を設けること ★VIP用エントランスホールは、VIP用にふさわしいラグジュアリーな内装とすること ★VIP用エントランスホールからVIPフロアへ直通のエレベーター（24人乗り以上）を設置すること	◆VIPが利用時には入場口からスイートには他の利用者と隔離された動線（一時的でも可）確保されている ※入場口を分けることが望ましい	

別紙11 各室条件表

No.	区分	室名	項目	要求水準 凡例 ★：必須、○：望ましい	【参考】Bリーグ ホームアリーナ検査要項 2026-2027シーズン新B1用
57	観客席内運営エリア	メディア席	-	<ul style="list-style-type: none"> ★コート全体を見渡せる位置にテーブル付きのメディア席を適宜設けること（コンサート等他イベント時は通常座席として利用できるよう、テーブルを取り外せる仕様とすること） ★各席にコンセント及びLANを設けられるようにエリア近傍に必要なインフラ設備を設けること 	<p>⑤諸室要件 3観客席内運営エリア (1) メディア関連エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ホームゲーム開催時には、スタンド席、アリーナ席を問わず、コート全体を見渡せる位置に、テーブル席として試合を取材するメディア専用の座席を設置する テーブル席は、1人当り幅600mm以上のスペースを確保し、奥行きは1人当り450mm以上とする 「メディア席」には下記の必要な設備を配備する ・電源 ※1人のメディアに対して1口以上のコンセント（交流100V） ※1人当りの電気容量は200wを想定しエリア全体の容量を確保する ・インターネット回線（無線または有線） ※1人に対して1口/Wi-Fiの場合は50Mbps以上） ※ただし、インターネット回線は必要に応じて配備するものとするがメディアサービスとして推奨する
58		ENGスペース (カメラポジション)	-	<ul style="list-style-type: none"> ★ENGを設置可能なスペース（カメラポジション）を確保すること ★ENGスペースまでの電源確保、ライン引き回し対応が容易に可能なこと 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ホームゲーム開催時には、スタンド席内のチームベンチと逆側に、ノンライブブロードキャスター用のニュース取材カメラ（ENG）を設置するためのスペースを確保し、そのエリアには観客が立ち入ることができないように措置する また、そのENGカメラポジションの四方は、カメラ撮影の障害にならないような座席配置を主催・管理者は配慮しなければならない 《推奨要件》 設置するスペース等は別途Bリーグが定めるメディアガイドラインを遵守できることが望ましい
59		中継カメラスペース (カメラポジション)	-	<ul style="list-style-type: none"> ★中継カメラを設置可能なスペース（カメラポジション）を確保すること（他イベント時は座席としておき、試合時は仮設イントレを組んで配置する形でもよい） ★中継カメラスペースまでの電源確保、ライン引き回し対応が容易に可能なこと 	<p>⑤諸室要件 3観客席内運営エリア (2) ブロードキャスター関連エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ホームゲーム開催時には、スタンド席内のチームベンチと逆側に、テレビカメラを設置するためのスペースを確保し、そのエリアには観客が立ち入ることができないように措置する また、そのテレビカメラポジションの四方は、中継制作の障害にならないような座席配置を主催・管理者は配慮しなければならない 《推奨要件》 テレビ中継カメラポジションは下記とできる事が望ましい ・ベースカメラおよびタイトカメラの角度は15°～22°の範囲 例) この範囲に収まらない場合、FIBA等が定める国際大会基準に合わない可能性があります。 ・コートサイドカメラを拡張した際にLEDビジョンの影響を受けないように考慮されている
60		放送室/コメンタリーポジション	-	<ul style="list-style-type: none"> ★アリーナを見渡せる位置に設けること ★大会時の運営に必要な放送設備及び音響設備を設けること ★カメラやモニタ、マイク用のインフラ設備を設けること ★コメンタリーポジションを設置可能なスペースを確保すること ★コメンタリーポジションに設置されたテーブル席に座った状態でアリーナ内を見渡せること ★コメンタリーポジションまでの電源確保、ライン引き回し対応が容易に可能なこと ★フリーアクセスフロア（二重床）とすること 	<p>⑤諸室要件 3観客席内運営エリア (2) ブロードキャスター関連エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆テレビ中継が行われる試合で、試合会場から実況放送する場合（生中継、録画中継を問わず）は、スタンド席内のチームベンチとは逆側に、コメンタリーポジションを設置するためのスペースを確保すること ◆コメンタリーポジションには観客が立ち入ることができないように措置する コメンタリーポジションはテーブル席とするが、その設置は中継局が独自に行うことを前提とする ◆コメンタリーポジションには、主催・管理者が下記の設備を配備する ・電源 ※コメンタリーポジション当り2kwを想定して電源タップ（6口以上）を配置する ・インターネット回線（無線または有線） ※信号伝送回線は別とする（中継局独自の手配とする） ※ただし、インターネット回線は必要に応じて配備するものとするが中継局サービスとして推奨する
61		コントロールルーム	-	<ul style="list-style-type: none"> ★アリーナを見渡せる位置に設けること ★室内にライブ映像やリプレイ映像のほか、予め準備した動画・静止画を様々な組み合わせた上で映像設備に出力することができる映像送出システムを設けること ★フリーアクセスフロア（二重床）とすること 	<p>②設備要件 I付帯設備 2専用諸室 (3) 各種設備運用調整室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆館内に常設されている各種設備の管理、調整を行う専用諸室があり、各種設備の利用時に利用可能である ※管理事務室など、ひとつの部屋に集中設置されている場合を含む ・音響設備調整室 ・映像設備調整室 ・通信回線集積装置（の設置されている部屋） ・電気設備室 ・館内共聴設備（の設置されている部屋）

別紙11 各室条件表

No.	区分	室名	項目	要求水準 凡例 ★：必須、○：望ましい	【参考】Bリーグ ホームアリーナ検査要項 2026-2027シーズン新B1用
62	来場者利用エリア	エントランスホール	-	<ul style="list-style-type: none"> ★エントランスホールの一部は、貸切利用時以外は開放することにより、公園利用者や付近を散策する県民がくつろげるスペースとすること ★大規模イベント時に利用者の安全な入退場ができ、仮設店舗等を設置可能な広さを確保すること ★受付は、カウンター形式とし、子どもから高齢者、車椅子利用者を含めて利用しやすいように高さに配慮すること ★入退場口を入ったところで荷物検査、チケットチェック、チラシ&サンプル配布等が十分に行える広さがあること ★総合対応窓口、ベビーカー預かり所、手荷物一時預かり所を設営できるスペースを確保すること ★プロスポーツ興行時、各種イベント時等の電源対応として、イベント用の電源盤を設けること 	<p>④スペース・入場口要件 1 各種スペース (1) エントランスロビー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆観客用入場口内の館内スペース（エントランスロビー）は、入場可能数に応じて、一時的に観客が収集した際にも安全な状態が維持できる十分な広さがある ◆エントランスロビーは、各種設置物が設置された場合においても、観客の滞留によって混乱が生じないような十分な広さが確保できる ※各種設置物の対象は以下の内容を想定する ・各種受付テーブル、総合案内テーブル ・スポンサーブース ・臨時グッズ売店 ・臨時飲食売店 <p>⑥観客対応要件 3. 館内の観客対応サービス機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆観客用入場口内のエントランスロビー内に、観客用の下記のサービスが提供できる総合対応窓口を設ける 総合窓口において以下のサービスを提供する。 ただし他ブースと併設してサービスを提供することも可とする。 ・落し物、迷子等の統括窓口として情報の集約と提供 ・ホームゲームに関する各種情報の集約と提供 ・観客に関わる各種お問い合わせの窓口 ・館内での事件、事故、急病等のトラブル情報の集約と運営本部への連絡 <p>⑥観客対応要件 3. 館内の観客対応サービス機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆遠方から来場する観客等が座席下に置けない大きさの手荷物を保持する場合を想定して、既存設備の使用、または仮設設置により、手荷物一時預かりスペースを設ける ただし、預かる物の仕様制限に関しては主催・管理者が決定する また、この機能を他スペースやブースと併合することも可とする
63		入退場口	一般観客・利用者用入退場口	<ul style="list-style-type: none"> ★利用者の主たる出入口には風除室を設け、6,000人以上の入退場に耐えうる余裕のある間口とすること ★エントランスの各扉に入退場で必要となる機器が設置できるよう、必要なインフラ設備を設けること ★ロータリーや主な交通手段となる最寄りバス停からの動線を考慮した配置とすること ★避難動線経路に留意した配置とすること 	<p>⑥観客対応要件 2. 観客用入場口</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ホームゲーム開催時には、入場可能数に応じて、観客専用の入場口を設定し、入場に支障がない規模で、使用するドアの数等の間口を余裕を持って設定する 夜間の場合で周辺に照明設備がない場合は、観客が分かり易いように照明設備を配備する ◆この「観客用入場口」の位置が観客に分かり易いように、適切に表示や案内を配備する
64			入退場口/出入口(一般観客・利用者以外)	<ul style="list-style-type: none"> ★選手・スタッフ/演者・関係者専用出入口は、関係者用駐車場との動線を考慮すること ★プロスポーツ興行に ★選手・スタッフ専用出入口 ★VIP専用出入口 ★運営用出入口 ○テレビ中継用出入口 ○メディア用出入口 をそれぞれ、一般観客用入退場口とは別に設けること ○テレビ中継用出入口は、中継車置場に近接した位置とし、端子盤や通線口など、アリーナ内やコントロールルーム・カメラ等との配線のしやすさも考慮すること 	<p>④スペース・入場口要件 2. 入退場口</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆観客の入場口以外に、下記対象の専用入場口を設定し、観客との接触を避けられるようにする ・ブロードキャスター（テレビ中継関係者） ・来賓※チケットで入場する招待者は除く ・チーム ・運営役員及びスタッフ（ボランティアを含む） ※メディアについては専用入場口を設定できることが望ましい ◆施設の構造上、複数の入場口の設定が困難な場合は、安全を確保する運営体制を敷き実行する ただしチームの入場口は必ず観客の入場口から離れた位置に設定する
65			当日券売り場	-	<ul style="list-style-type: none"> ★一般観客・利用者用入退場口付近に当日券売り場を設置すること ★夜間でも「当日券売り場」が認識できるように照明を設置すること ★入場待機動線と重ならない配置計画とすること
66		コンコース	共通	<ul style="list-style-type: none"> ★避難動線に十分留意すること ★エレベータ配置計画を含め、車椅子利用者等の動線に留意すること ★床仕様は、土足利用が可能な仕様とすること ★プロスポーツ興行時・イベント時等の電源対応として、イベント用の電源盤を設けること 	

別紙11 各室条件表

No.	区分	室名	項目	要求水準 凡例 ★：必須、○：望ましい	【参考】Bリーグ ホームアリーナ検査要項 2026-2027シーズン新B1用
67	来場者利用エリア	コンコース	観客エリア内コンコース	<ul style="list-style-type: none"> ★観客が通行するコンコースは、有効幅員：4m以上を確保すること。なお、部分的に柱型等で幅員が4m未満となる部分があっても可とする ★コンコース幅は、トイレや飲食物販の行列ができて十分に通行可能な広さがあること ○休憩用ベンチとして現県立体育館の木製客席を再利用することを検討すること 	④スペース・入場口要件 1 各種スペース (2) 観客エリア内コンコース ◆エントランスロビーから観客席エリア内へのコンコース及び通路は、入場可能数に応じた幅員があり、観客の通行時や一時的な滞留時にも支障がない十分な広さがある ◆観客席エリア内コンコースは、以下の要件によって、通行の安全が確保できない状態に決してならない ・ブース等の設置物の設置 ・意図的に観客の滞留を生じさせるような行為 ・「立見席」の設定 ◆観客席エリア内コンコース及び通路は、土足での利用が可能である（施設としてもしくは運営上養生することで可能な場合も含む）
68		運営エリア内コンコース	<ul style="list-style-type: none"> ★器具庫や外部からの搬入出も含めて十分な広さがあること ★仮設ケーブル敷設用のフックをアリーナ側壁面上部に設置すること ★ゴミの仮置き場を適宜考慮すること（各階） 	④スペース・入場口要件 1 各種スペース (3) 運営エリア内コンコース ◆ホームゲームの開催時に運営上、関係者以外の立ち入りや通行を制限するエリアにあるコンコースは、チームの移動や物品の運搬等に支障がない十分な広さがある ◆運営エリア内コンコースは、以下の要件によって、通行の安全が確保できない状態に決してならない ・荷物の無作為な放置 ・テーブル席など固定物の設置 ・大人数の待機場所等の控スペースとしての使用 ※上記要件を避けるために必要に応じて「臨時倉庫」として使用可能なスペースを確保する	
69	トイレ	一般観客・利用者用トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ★アリーナ、体育館、エントランス、管理スペース等に、それぞれ十分な数のトイレを設けること ★エントランス付近のトイレは、公園利用者に開放することとし、男性用、女性用のほか、多目的トイレ（多機能トイレ）を設けること ★Bリーグホームアリーナ検査要項を充足した個数とし、各イベントの利用を想定した上で適切に計画すること ★アリーナ内に設置されるトイレは、興行時の混雑が緩和されるよう動線に配慮する（一方通行トイレ等）ほか、男性用と女性用の仕切りを移動できる等、運用面で工夫できる構造とすること ★トイレは、利用者数、観客数、利用動線等を考慮し、各階にバランスよく分散配置すること ★便器及び手洗い場は、子どもの利用や子どもを連れた保護者の利用に配慮すること ★各トイレの大便器ブースの1か所以上に手摺りを設置すること ★各トイレの小便器1か所以上に手摺りを設置すること ★売店等の行列との交差が起こりにくい配置とすること ○女性の利用に配慮し、パウダーコーナーを備えること 	②設備要件 I 付帯設備 1. トイレ ◆観客エリア内に入場可能数に対して、右記割合の人が同時に利用可能な規模でトイレ設備がある 入場可能数5,000人までは3%とし、5,000人を超える人数に関しては推奨2.5%、必須2%とする。 ◆運営エリア内に関係者、メディア、来賓等の人数規模に対応する規模で、トイレ設備がある ◆観客エリア内の車椅子席に隣接した位置に、適正規模で、多目的トイレ（身障者用トイレ）がある ◆観客入場口付近の館内もしくは館外に、入場待ちの観客が利用できるトイレ設備がある ◆便器様式の配置比率は、少なくとも「洋式トイレ」が全体の80%以上の割合で配置されている	
70		多目的トイレ（多機能トイレ）	<ul style="list-style-type: none"> ★多目的トイレ（多機能トイレ）は、乳幼児連れや障害者、LGBTQ等が利用しやすいよう、広さや設備等に配慮するとともに、オストメイト対応とすること ★高齢者、障害者等が入りやすく、異性介助の際にも入りやすい場所に設けること ★車椅子席数に対して適切な数量を計画すること ★障害の程度に応じた複数の便器の設置について検討すること 		
71		選手/演者エリアトイレ	<ul style="list-style-type: none"> ★男女および多目的トイレを配置すること ★各トイレの大便器ブースの1か所以上に手摺りを設置すること ★各トイレの小便器1か所以上に手摺りを設置すること ★選手、演者のトイレは、一般客等がアクセスできないエリアに設置すること 		
72		運営エリアトイレ	<ul style="list-style-type: none"> ★男女および多目的トイレを配置すること ★各トイレの大便器ブースの1か所以上に手摺りを設置すること ★各トイレの小便器1か所以上に手摺りを設置すること 		
73	コインロッカー	-	<ul style="list-style-type: none"> ★館内に適宜コインロッカーを設置すること ★小型のみならず、キャリーケースを収納できる中型以上のもも設置すること 		
74	救護室	-	<ul style="list-style-type: none"> ★救護室を1か所設けること（他の部屋を利用し仮設で設置できる場合には不要とする） ★観客エリアからのストレッチャーの移動、救急車両への搬送可能な配置計画・動線計画とすること ★室内に手洗い器を設置すること 	⑥観客対応要件 3. 館内の観客対応サービス機能 ◆館内において観客の急病、ケガが発生した場合に対応するために、観客の一時的な搬送が可能な位置に、既存設備の使用、または仮設設置により、「救護室」を設ける この「救護室」で応急措置を行う医師（および看護師）を、配置する この「救護室」には、以下の備品を配備する ・イス ・ベッド（長椅子での代用も可能） ※応急措置に必要な医療器具、医薬品等は医師が用意し持ち込む	

別紙11 各室条件表

No.	区分	室名	項目	要求水準 凡例 ★：必須、○：望ましい	【参考】Bリーグ ホームアリーナ検査要項 2026-2027シーズン新B1用
75	来場者利用エリア	授乳室	-	<ul style="list-style-type: none"> ★利用しやすい位置に適宜設け、授乳時に座るイス、おむつ交換用のベッド、流し台等を適宜配置すること ★出入りの際に室外から中の様子が見えないようカーテン等を設置するなど配慮すること 	⑥観客対応要件 3. 館内の観客対応サービス機能 ◆乳幼児を同伴する女性客のために、観客席エリア内に、既存設備の使用、または仮設置により、「授乳室」を設ける ただし、多目的トイレ（身障者用トイレ）内に授乳設備が設置されている場合は、その限りではない
76		キッズルーム（スペース）	-	<ul style="list-style-type: none"> ★キッズルーム又はキッズスペースを設けること ★観客・利用者が利用しやすく、運営側の管理にも留意した計画とすること 	
77		館内展示スペース	-	<ul style="list-style-type: none"> ★県におけるスポーツの実績・功績を展示するスペースを適宜設けること ★将来的に展示物が増えることを想定して余裕を持った計画とすること 	
78		飲食テナントスペース	-	<ul style="list-style-type: none"> ★施設利用者や観客はもとより、県民が気軽に立ち寄り喫食することができる飲食テナントスペースを、南側県道（秋田県道26号線秋田停車場線＝山王大通り）からの視認性が高く、第1駐車場からのアクセスがよい1階に設けること ★厨房・客席エリアを合わせて240㎡程度とすること ★厨房はセントラルキッチン機能を有するものとし、スイート・ラウンジ等に食事を提供できるよう必要な設備を設けること ★供用開始時のテナント入居者は県が選定する ※その他の要求水準は入札公告までに示す 	
79		売店スペースA	-	<ul style="list-style-type: none"> ★アリーナのエンタランスホール又はコンコースの適切な位置に、飲食物やグッズ等を販売する汎用性の高い売店スペース（70㎡程度）を1か所設けること ★売店スペースの周囲は壁で囲うこととし、商品の受け渡しや接客のしやすさを考慮して、接客用カウンター・作業台を設けること ★搬出入動線を考慮した配置とすること ★流し台を設置し、給水・排水を適切に計画すること ★電子レンジやホットショーケース等の使用を想定し、専用コンセントを設けること ★電源盤等の電気インフラを設け、課金が行える検定付メーターを設置すること ★水道・給湯の使用料を計量できるようにすること 	① 施設要件 IV飲食関連施設 ◆施設内に観客を対象とした飲食物販売を行う売店施設が常設施設としてある
80		売店スペースB	-	<ul style="list-style-type: none"> ★アリーナのエンタランスホール、コンコースに、飲食物やグッズ等を販売する売店が設置可能なスペースを複数設けること（30㎡程度のスペースを2か所以上、20㎡程度のスペースを3か所以上） （売店スペースAのように周囲を壁で囲うことや接客用カウンター・作業台を設けることは求めない） ★出店時にはテーブル、ラック、ショーケース等を設置することを想定し、搬出入動線を考慮した配置とすること ★電子レンジやホットショーケース等の使用を想定し、専用コンセントを設けること 	
81	施設管理運営エリア	機械室等	共通	★将来機器の更新がしやすい配置とし、更新用スペースを適切に確保すること	
82		通信機械室		<ul style="list-style-type: none"> ★塩害・降雪・近隣等を考慮し、可能な限り屋内に機器を設置すること。屋外に設置する場合は、塩害対策・融雪剤対策・防音対策を施すこと ★フリーアクセスフロア（二重床）とすること 	
83		MDF室		★塩害・降雪・近隣等を考慮し、可能な限り屋内に機器を設置すること。屋外に設置する場合は、塩害対策・融雪剤対策・防音対策を施すこと	
84		中継車・電源車・接続盤室			
85		受水槽ポンプ室			
86		雑用水機械室			
87		消火機械室			
88		熱源機械室			
89	空調機械室				

別紙11 各室条件表

No.	区分	室名	項目	要求水準 凡例 ★：必須、○：望ましい	【参考】Bリーグ ホームアリーナ検査要項 2026-2027シーズン新B1用
90	施設 管理 運営 エリア	機械室等	受変電設備室 (置場)	★屋外でも可とするが、塩害対策・融雪剤対策・防音対策を施すこと	
91			非常用発電機 室 (置場)		
92			屋外機械置場	★塩害対策・融雪剤対策・防音対策を施すこと	
93		管理事務室	—	★管理動線に配慮し、アリーナ又は体育館のエントランス付近に事務室を配置すること ★中央監視装置を設置し、各設備の運転状況を統括できるシステムを構築すること ★フリーアクセスフロア (二重床) とすること	
94		秋田県スポーツ 協会事務室	—	★公益財団法人秋田県スポーツ協会の事務室 (200㎡程度) を設けること ★体力測定室と近接した位置に配置すること ★フリーアクセスフロア (二重床) とすること	
95		ごみ庫	—	★運営に必要なごみ庫を適宜設けること ★清掃車の寄り付きに留意すること ★室内に地流しを設置すること	
96		清掃員控室	—	★ごみ庫に隣接または近接して清掃員控室を適宜設けること ★ロッカー、更衣スペース (男・女それぞれ) を確保すること ★室内に手洗い器を設置すること	
97	警備員室	—	★警備員の控室を適宜設けること		

※上記以外に必要な諸室は、適宜計画のこと。

※室名及びエリア名については、便宜上のものであり、室の共用・分割、エリア間の移動など維持管理・運営のしやすさの観点から適宜調整することができるものとする。